

# 総合かがく展に作品を応募しよう！！

(中学生用)



## ＜総合かがく展とは＞

今年で第55回となる「藤沢市総合かがく展」では、小学生・中学生の「自然」「生き物」「科学」などの自由研究作品の中で、学校で推薦された作品を数多く展示します。

新江ノ島水族館などの展示もあります。みなさんも自由研究に取り組んで、総合かがく展に作品を出しましょう！

「自由研究（自然、生き物、科学などの研究）」って何をしたらいいの？



①テーマ設定…不思議や謎など、自分の疑問・興味から考えよう！

### ＜課題設定のヒント＞

- ・「自然」や「生き物」、「科学」などで、疑問に思ったことや興味・関心のあることから…。
- ・「学習したこと」の中で、もっと調べてみたいことから…。
- ・「自分たちの住む地域の自然」の中から…。  
→「藤沢の自然」を調べてみよう！身近な地域の自然を調べると、本や図鑑に書いてあるのとは、まるで違う世界が広がっているよ！自ら手や足を使って藤沢の自然にふれよう。
- ・環境保護や省資源など、身近な環境について調べてみまよう。自然を守り、くらしを豊かにするよりよい方法が見つかるかも。



②計画を立てる…ねらいをはっきりさせ、研究の進め方を考えよう！

- (1) 「予想」…結果についての予想をしたり、仮説をたてたりしてみよう。
- (2) 「方法」…調査の仕方（実験・観察・実地調査など）や手順・方法などを考えよう。
- (3) 「準備」…研究のために何が必要か。準備する器具や材料を考えよう。
- (4) 「情報収集」…課題についての情報をインターネットや書籍などを利用して集めよう。  
※池や川などの危険な所には一人で行かないこと。  
※危険な薬品などは使用せず、常に安全に気をつけよう。



③準備する…必要なものをそろえよう！

- ・必要な「材料」や「器具」、「薬品」などを準備しよう。
- ・「個数」や「量」、「大きさ」や「特徴」を具体的に書き出しておこう。





## ④実験・観察・ものづくり…いよいよスタート！

- 実験・観察の結果は、メモ、スケッチ、写真、ビデオ、音声などで記録しよう。
- 何度もくり返し調べよう。(このくり返しが、正確さや精度・信頼性につながるよ。)
- うまくいかなかったときは、その「原因」を考えて、「新たな方法」で調べ直そう。
- 結果から新たに「疑問」が生まれたら、さらに研究を続けよう。
- 「予想」と「結果」が違ってても記録を残し、新たな「仮説」を設定し直そう。



### 実験・観察のヒント

- ☆「比較」…他の似ているものと比べたり、一つのことを、時間をおいて調べたりしよう。
- ☆「関係づけ」…実験・観察の「原因」「結果」が、今までの「学習」や「生活」にどのようにつながるか考えてみよう。
- ☆「条件制御」…実験・観察の「そろえるところ」と「変えるところ」を区別しよう。
- ☆「多面的な考え方」…一つのことを色々な面から考えて、予想を立てたり、見通しを立てたりして、解決方法を考えよう。



## ⑤まとめる…自分が取り組んだ研究をしっかりとまとめよう！

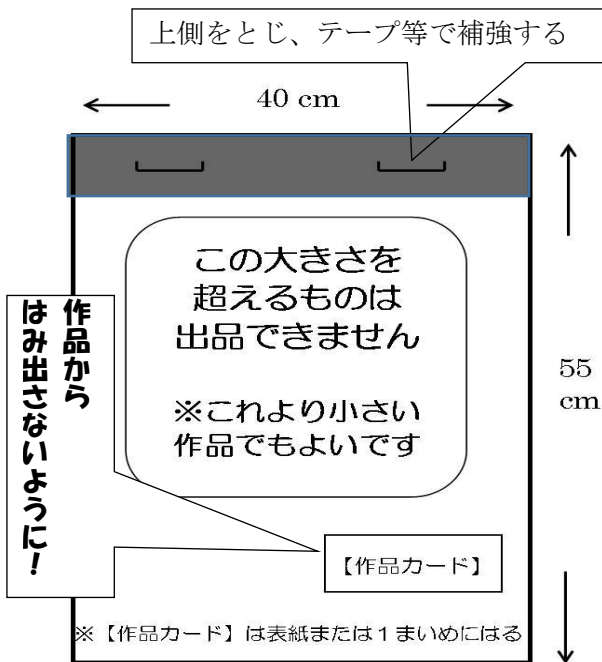
- (1) 「表紙」…「テーマ」「学校名」「学年」「名前」を書き、「作品カード」を貼ろう
- (2) 「動機」…「研究したい!」と思った「理由・きっかけ」を書く。
- (3) 「仮説」…どのような「結果」になるか。最初の大まかな「予想」を書く。
- (4) 「方法」…実験・観察してきたことを、順に整理して書く。  
※写真や絵、図表・グラフなどを使って、分かりやすくしよう!
- (5) 「結果」…実験・観察の結果を詳しく具体的に書く。
- (6) 「考察」…研究したことや結果についての「自分なりの考え」をまとめよう。  
※「知らないことがあることに気付く」ことにも大きな価値があります!
- (7) 「感想」「今後の課題」…自由研究の前と後でどう変わったかを書こう。  
※研究での失敗や苦労だけでなく、「新たな疑問」や「今後の課題」についても書こう。
- (8) 「参考文献」(研究の参考にした本や、インターネットのWEBページなど)を書く。  
※書名、論文名、URL、著者名、出版社名など「出典」を明らかにする。  
※「引用した部分」は、「自分の考え」と区別がつくように囲むなどしておく。

見る人・読む人のことを考えて!



## <応募の決まり>

- ①作品の内容「自然科学」を対象とした調査・研究に関わる作品
- ②作品の形式



※紙は横向きでも良いです

### 【作品の形式や規格について】

#### <大きさ>

※ 研究報告は、けんきゅうほうこく 模造紙 もぞうし 1/4 (55cm×40cm 程度) を超えない大きさでお願いします。  
まいすう 枚数が多くなるときは、重ねてとじてください。

(その時は、左図のように上側をとじてください。)

#### <字の大きさやレイアウト>

※少し遠くから見ても分かるくらいの字の大きさと、丁寧に 横書き 横書きで書きましょう。(題字や見出し、吹き出しなどは、見やすい工夫をして下さい。)

#### <科学工作・標本の場合について>

※科学工作・ひょうほん 標本なども、そのまま展示します。

(壊れたり、無くしたりして困るものは、出品しないで下さい。予防に努めますが、責任がとれません。)

→ケースに入れて、さわ 触られないようにする。

動いている様子や作品の特ちょうが分かる様子などの しゃしん 写真を撮って貼っておくなどの工夫をして下さい。

※出品する場合には、一つ一つに必ず名前を書いてください。(紛失防止のため。) なお、科学工作・標本にも、レポートを忘れずにつけてください。

一人でも多くの作品を展示するため、この大きさを定めていますので、皆さん、協力してください。なお、上記の規格を守っていない作品は、総合かがく展に出品することができませんので気をつけてください。

また、出品については校内での審査があります。

### 「作品カード」(切り取って使います)

右の「作品カード」は、「表紙があるもの」は、表紙に貼って、「表紙のないもの」は、1まい目に、作品からはみ出さないように貼ってください。

第55回 藤沢市総合かがく展 【中学生の部】			
作品名			
ふりがな			
出品者氏名			
学校名		学年	年

# <作品審査・表彰について>

総合かがく展に出品された作品は、次のように表彰されます。

◎各学校から選ばれ、会場に展示される作品すべてに与えられるもの  
○入選

◎入選作品のうち、各学校から賞の候補として推薦された作品に与えられるもの  
○奨励賞 小学生の部：各学校割り当て総出品数の1割程度(1・2年生を除く)  
中学生の部：各学校3～5点程度  
(推薦された作品は、総合かがく展審査員による審査の対象となります。)

◎推薦作品のうち、総合かがく展審査員による審査の結果与えられるもの

## 【小学生の部】

- 最優秀賞 中・高学年から1点程度
- 優秀賞 中・高学年からそれぞれ5点程度

## 【中学生の部】

- 最優秀賞 全作品から1点程度
- 優秀賞 各学年から3点程度

## 【特別賞】(ふさわしい作品がある場合のみ)

- まつもとたけと松本丈人賞 藤沢の自然に関する調査研究において、すばらしい功績が認められる作品。小中全作品の中から1点。
- かんきょうとくべつ環境特別賞 環境保護や省資源等に関する調査研究において、すばらしい成果が認められる作品。小学校・中学校の部各1点程度。

## 松本丈人賞とは

松本先生は、植物・動物・地質等、藤沢のありとあらゆる自然調査に生涯を捧げられた、藤沢市立中学校の理科の先生でした。勤務のかたわら、センター刊行の「藤沢の自然」シリーズ等たくさんの出版物を手がけられるなど、自然科学に関する数多くの業績を遺しつつ、2002年10月に享年53歳で永眠されました。

先生の活躍にちなみ、総合かがく展出品作品の中で藤沢の自然に関して自身の五感を駆使し、自分の足で調査するなど、素晴らしい調査研究の成果を上げた優秀な作品に対して贈られるものです。

※入選・各賞等は、重複しないものとします。

※最優秀賞・優秀賞等の受賞者には、受賞者発表後、「総合かがく展研究集録」作成のための原稿作成をお願いしています。

※過去に出品された作品(他団体への出品を含む)を丸写し、出品することは著作権等の侵害にもつながります。絶対にやめましょう。

※引用(本や図鑑、インターネットなどの文章をそのまま書き写して紹介すること)するときには、その文章を「」(カギカッコ)でくくり、著者・出版年・タイトル・ページが分かるようにしましょう。

※なお、作品、氏名はインターネット等で公開されることがあります。了解の上お申し込みください。